

ケーブル技術スタッフの機器チェック!

日々開発されるケーブルテレビ関連機器を、技術スタッフが
厳しい目でチェック! 実用性に焦点を当てて報告します。

No.
90

カメラコントロール

豊島ケーブルネットワーク(株) 技術部 部長 上山裕史

今回は複数のHDカメラのフォーカス・パン・チルト・ズームを
制御するリモートコントロールユニットとの接続を紹介します。

私たちケーブルテレビ局の技術者は、プ
ライマリーIP電話やインターネットなどミ
ッションクリティカルな双方向アプリケーショ
ンに加え、コミュニティチャンネル(コミチャ
ン)放送のためのデジタル放送機器の安
定動作に目を光らせています。

今回は複数のHDカメラのフォーカス・パ
ン・チルト・ズームを制御するリモートコン
トロールユニット(写真1)との接続を紹介し
ます。

1台のリモートコントロールユニットと複
数のHDカメラのコントロール信号は
RS-422規格でやりとりされます。RS-422
規格は米国電子工業会(EIA)の制定した
規格です。RS-422の電気特性は平衡タ
イプなので、対捻りした2心ペアケーブルを

送信受信のそれぞれに使用します。
RS422ケーブルとしてカタログに記載され
ているカナレ社のA2C3を利用します。写
真2にRS422ケーブルを示します。2ペア
あるのがよくわかります。他にも電源供給
にも使える心線がありますが、今回は使用
しないので切断してあります。

写真3にカメラ裏面を示します。写真3
左上の角形コネクタがRS422になってい
るので、ここに写真2のケーブルを接続し
ます。ケーブルを接続した様子を写真4に
示します。RS422は信号の電圧や役割は規
定していますが、コネクタの形状は規定し
ていません。HDカメラはフェニックス社の
コネクタを使用しています。これに適合する
コネクタを使用します。心線の被覆を剥き、



写真3:カメラ裏面

心線を穴に差し込みます。穴に対応したネ
ジをマイナスドライバで締め付けて固定し
ます。リモートコントロールユニットによるカメ
ラコントロールは赤外線リモコンによる操
作と比較して微妙な操作が簡単にできま
す。カメラ位置のプリセット機能を利用す
ると事前に設定した位置に素早く移動す
ることができます。

自社内で設計と工事ができるとコスト削
減とメンテナンスが容易になります。安定し
たサービスをユーザに届けていきたいと考
えます。



写真1:リモートコントロールユニッ

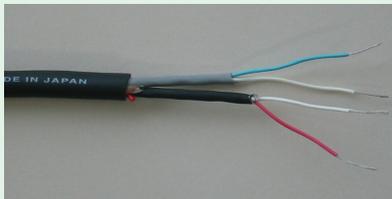


写真2:RS422ケーブル



写真4:ケーブルを接続した様子